



2019.07.27.saturday

向日市ふるさと創生推進部 企画広報課

📅 「向日市の観光」を“みんなで考える”講座がスタート!!



観光を通じたまちづくりを担う人材の育成プログラム「むこう観光スタートアップ講座」がスタートしました。

この講座には、観光で向日市を盛り上げたい、何か新しいことに取り組んでみたい方など26人が参加され、7月27日(土)14時から開催した第1回講座では、市から観光の動向や市の取り組み、

この講座の目的等の説明を行いました。

その後、京都外国語大学特任教授の吉兼秀夫先生から「観光における『図と地』論と観光まちづくり」と題し講演していただいたあと、地域の魅力を発掘するワークショップ「向日市宝物語」を行っていただきました。



🗨️ 「観光における『図と地』論と観光まちづくり」

京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光学科特任教授の吉兼秀夫先生は、観光で地域を元気にする観光まちづくりに取り組んでおられ、奈良県明日香村では地域全体を博物館と捉える活動「エコミュージアム」に自ら取り組まれている他、さまざまな地域で観光振興計画の策定などに携わっておられます。

今回の「むこスタ」では、観光資源のとらえ方や見つけ方、活用する方法等について、吉兼先生が提唱されている「図と地(ずとじ)」論の考え方をご紹介いただきました。

この「図と地」論では、有名で吸引力(人気)がある観光資源を「図」、その背景

にある景観や景色、当地の生活習慣などを「地(じ)」にとらえ、双方を磨いていくことで、迎える側、迎えられる側である、観光客と住民がともに幸せになろうという考え方です。

参加者のみなさんも市職員も熱心に聞き入っていました。

✔️ ワークショップ 「向日市宝物語」

ワークショップでは、参加者、市職員が5グループに分かれ、それぞれが思う「向日市の宝」について意見交換を行いました。ワークショップの最後には各グループの発表を行い、参加者全員で結果を共有しました。

ワークショップで各参加者が記入したワークシートは、それぞれが思うお宝をまとめた「向日市宝物語」の冊子になりました。

【各グループ結果(お宝)】

Aグループ

・桜と向日神社、歴史・人、長岡宮古代衣装、競輪場

Bグループ

・日本電産創業者、交通アクセス、地下水竹の径、里山、富永屋と文化資料館

Cグループ

・長岡宮跡、市職員、地域の人、都会でも田舎でもないところ、有名企業、図書館

Dグループ

・野菜・タケノコ、千両ナス、桜の径、勝山公園と桜並木

Eグループ

・星空、竹、竹の径、向日神社、噴水公園(桜の径)、富永屋

講座の冒頭、企画広報課から「観光の動向について」お話しをしました。

国が観光を施策として大々的に進めている中で、京都市では観光公害が問題となっています。

このような状況の中、向日市の進めるべき

観光のあり方はどのようなものか、まずは市の考え方や施策をご紹介しました。

わたしたちも今後この「むこスタ」で、参加者のみなさんと勉強し、「向日市の観光」をいっしょにつくりあげていきたいと思えます。

12月までどうぞよろしくお願いいたします。

